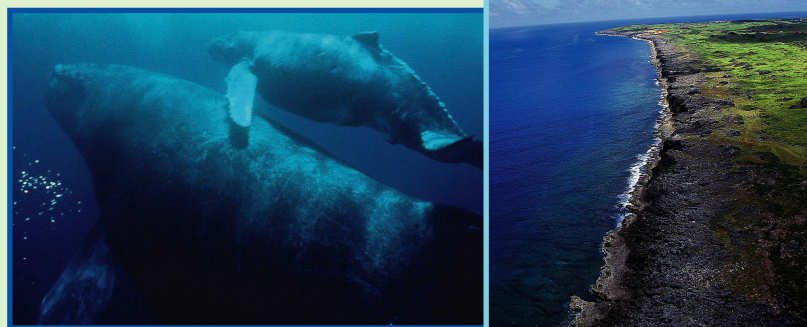


北大東島は無人島であった100年前、アコウ・タブノキ・ダイトウシロタモなどが密生しジャングルを形成していましたが、サトウキビの開墾や磷鉱採掘などにより多くの密林が奪われました。しかし開拓の手を逃れた長壽周辺は、本来の植生が残されており、国指定の天然記念物地域として守られ、海洋によって大陸から隔絶されてきた生物等は、隔離によって固有の種や亜種に分化して行った動植物達が多く生息しています。



北大東の動植物



施設のご案内



受付・入口



エントランスホール



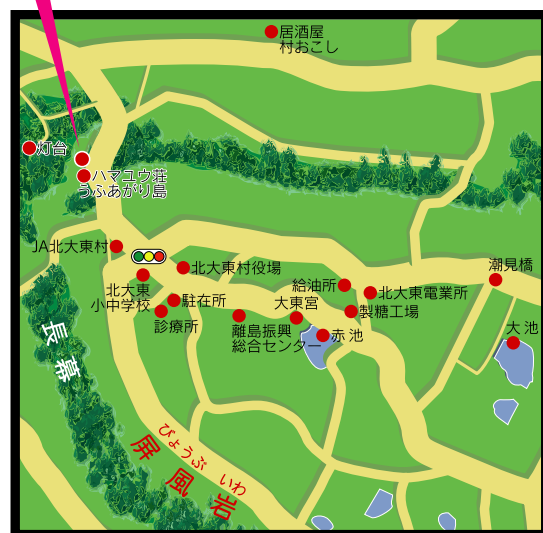
資料室



収蔵庫



民俗資料館



利用案内

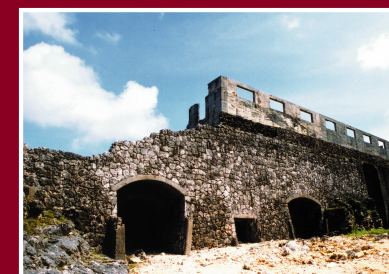
開館時間 午後1時～午後4時（入館は午後3時まで）
休館日 年末年始（12月28日～1月3日）

北大東村民俗資料館

〒901-3902 沖縄県北大東村字中野152-1
TEL09802-3-4350

北大東島 民俗資料館

展示案内



れきし 歴史

History

北大東島は、西暦2000年に大東諸島開拓100周年を迎えました。この島には、他に類を見ない燐鉱採掘事業の歴史と、砂糖キビの長い歴史があります。上陸から百年間の開拓史資料(写真・文献・道具等)となる品を、島内はもとより全国に点在する北大東島にゆかりの有る方々のご協力により収集することができました。先人達の偉業を讃え、その歴史資料館に収蔵し、展示しております。



せいかつぶんか 生活・文化

Life & Culture

百年の年月の中でその時代々の生活を表す当時の生活用品や農具類を各家庭の倉庫奥から探し出して戴きました。八丈の文化と沖縄の文化が融合し、織り成す独自の生活文化が食や祭りに色濃く伝承されています。訪れる人々に独特な文化の面白さを伝えるため、当時の生活文化の主役であった品々を同館に収蔵・展示致しました。



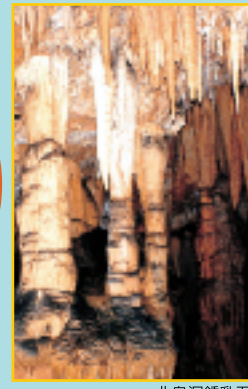
けいせいちしつ 島の形成・地質

The formation of Island & Geology

北大東島は地質学者の間では世界的に有名な島で、島の起源が約4800万年前、現在のニューギニア諸島周辺で火山島として誕生したと言われていています。その後フィリピン海プレートに乗り北上を続け、現在の海域に到達した島であり、今も年間約5センチずつ沖縄本島に近づいています。



火山口のカルデラを思い起こさせるこの島の形状は沖縄本島や、他の離島にはない内部がすり鉢状で、外側が岸壁に囲まれた隆起サンゴ礁の島であります。



北泉洞鍾乳石



レインボーストーン



石灰岩(ドロマイド)



燐鉱石

